

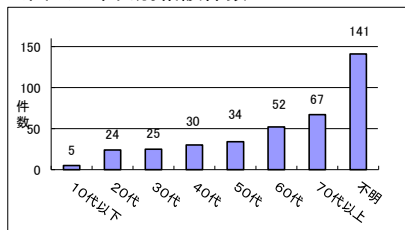
# 平成31年2月分の消費生活相談の概況

- 2月の相談件数は、378件で(表1)のとおりです。前年同月(490件)と比べ、112件減少しました。
- 総相談件数378件のうち、「不当請求」と判断される相談は107件で、前年同月(205件)と比べ、98件減少しました。
- 契約者の年代別相談件数は、(図1)のとおりです。70代以上が一番多く67件、以下60代が52件、50代が34件、40代が30件、30代が25件、20代が24件の順です。
- 相談の多かった商品・サービスは、<表2>のとおりです。第1位は「商品一般」で、以下「インターネット情報」「インターネット接続回線」「健康食品」「役務・その他サービス」「四輪自動車」などとなっています。

<表1>

区分	総相談件数		販売購入形態別相談件数										危害・危険		不当請求	
	件数	うち苦情相談	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ・マルチまがい	電話勧誘販売	ネガティブ・オプション	訪問購入	その他無店舗	不明・無関係	危害	危険	うち架空請求		
2月	378	360	54	19	96	3	30	1	1	0	174	1	3	107	53	
	構成比(%)	95.2	14.3	5.0	25.4	0.8	7.9	0.3	0.3	0.0	46.0					
累計	4,677	4,481	676	210	1,236	39	281	17	28	4	2,186	41	18	1,459	848	
前年同月	490	465	67	20	102	8	39	2	0	0	252	3	0	205	154	

<図1> 年代別相談件数



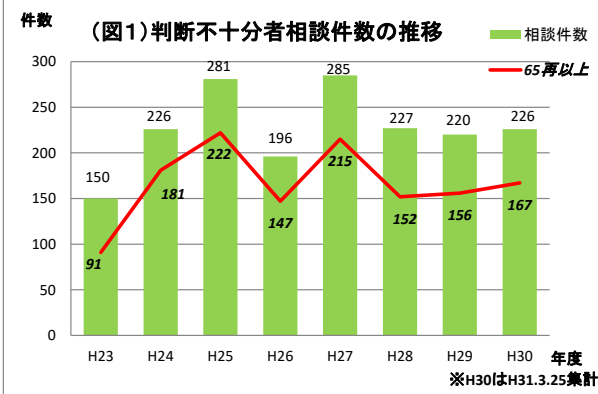
<表2> 商品・サービス上位5品目

順位	商品名等	件数	主な内容
1	商品一般	70	特定できない商品(架空請求ハガキなど)
2	インターネット情報	40	アダルト情報サイト、出会い系サイトなど
3	インターネット接続回線	16	インターネット回線等の料金、サービスの内容など
3	健康食品	16	健康食品の販売方法など
4	役務その他サービス	14	保守・点検サービスの持ちかけなど
5	四輪自動車	13	普通自動車・軽自動車など

## お知らせ

## 判断不十分者に関する相談状況

- ・新潟県内に寄せられた判断不十分者の相談件数は、近年200件を超える件数で推移し、平成30年度は増加傾向にあります。(平成30年度は3月25日までの登録件数)(図1)
- ・相談件数のうち、65歳以上が占める割合は、7割前後を占めており、高齢者に対する見守りが重要と思われます。(図1)
- ・平成29年度、平成30年度の品目別で見ると、「健康食品」「商品一般」「インターネット接続回線」「インターネット情報」の件数が多くなっています。(表1)
- ・主な販売形態では、「健康食品」「インターネット接続回線」は電話勧誘販売、「インターネット情報」は通信販売、「修理サービス」「新聞」は訪問販売が多くなっています。



(表1) 判断不十分者に多い商品・役務の品目

順位	平成30年度(H31.3.25集計)	件数	順位	平成29年度	件数
1	健康食品	24	1	健康食品	34
2	商品一般	23	2	インターネット情報	11
3	インターネット接続回線	13	3	フリーローン・サラ金	10
4	インターネット情報	12	4	商品一般	9
5	修理サービス	11	5	新聞	8

### 家族や周囲の方の見守りが必要です！

#### ◎見守りのポイント

- 見慣れない人物が入り込んでいないか。
- 頻繁に無料で日用品をもらえると出て出かけていないか。
- 不審な契約書や請求書などがいないか。
- 新品のふとんなど、同じような商品が大量にないか。
- 不審な電話のやり取りや、電話口で困っている様子はないか。
- 生活費が不足するなど、お金に困っている様子はないか。

#### ◇◇相談事例◇◇

実家で一人暮らしの85歳の母を訪ねたら、未開封の健康食品が何箱も積まれた状態になっていた。母に聞いてみると、電話勧誘で次々と健康食品を契約していたらしい。解約したいが、どうしたらいいか。

#### ◇◇アドバイス

訪問販売や電話勧誘販売は、早期に見発することでクーリング・オフし、被害が回復できる場合があります。次々に商品を購入する悪質な事例もあるため、高齢者が被害に遭っていないか見守りましょう。おかしいと思ったら最寄りの消費生活センターに相談しましょう。

新潟県消費生活センターの来所相談は予約制です。まず、電話でご相談ください。相談電話 025-285-4196